

かくだ市議会だより



第412回定例会

- 概要・決算審査特別委員会 … 2～3
- 議案審議結果 …………… 3
- 一般質問 …………… 4～10
- 決算審査特別委員会の現地調査 … 12

角田市議会から

- 議会日誌 …………… 10
- 常任委員会等の構成 …………… 11

【今号の表紙】『晩秋』

秋が深まり、冬はすぐそこまで。手代木沼に冬の使者「白鳥」が、40羽程飛来していました。

《撮影》角田市江尻 齋藤 吉信 さん

撮影日：令和2年11月29日

場 所：角田市高倉・手代木沼

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第412回
9月定例会

第412回定例会は9月3日から10月4日までの32日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった教育長・教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、決算などの議案17件を審議の結果、原案のとおり同意・可決・認定し、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問1件を適任と答申しました。

最終日には、議員提出議案が1件提出され、原案のとおり可決されました。

また、任期満了に伴う常任委員及び議会運営委員の改選等が行われました。

令和2年度
決算

一般会計
特別会計
事業会計

決算を認定

9月13日に設置された決算審査特別委員会は、5日間にわたり、議会選出監査委員を除く委員（議員）15人で審査を行い、表決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決しました。

番号法対応事業

マイナンバーカードの交付枚数と普及促進のための対策は。

令和2年度までに6,426枚交付。開庁時間内に来庁できない方のため、月に数回休日窓口の開設や平日の延長窓口を行った。

子ども医療費助成事業

子ども医療費の財源内訳は。

助成金額64,218,317円のうち、0歳から就学前までの入院・通院に係る経費の2分の1が県から補助され、他は一般財源である。

討論

白熱した討論を展開

令和2年度下水道事業会計決算



反対討論

日下 七郎

決算審査意見書「IVむすび」の「未収金の勘定科目で貸借対照表（総勘定元帳）の額と台帳（補助簿）の額に差異が認められ、原因については概ね究明されているものの今期決算では修正できなかった」とは、令和3年度会計にも誤りがあることを意味し、職員は、監査意見書の指摘、複式簿記の基本を習得する必要がある。

また、使用料について、下水道法では「能率的な管理の下における適正な原価をこえないものであること」と規定しており、処理区域内の水洗便所への改造義務や未だ自己処理している一部企業を公共下水道に連結させて、使用料を徴収するなど、より適正な管理を求めるため、反対とする。

一般・特別会計補正予算一覧
(単位：千円)

会計区分	補正額(9月)	補正後の額	
一般会計	1,264,396	14,970,491	
特別会計	国民健康保険事業	5,333	3,588,885
	後期高齢者医療	3,791	365,009
	介護保険	29,978	3,321,743

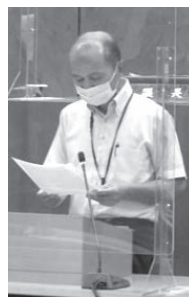
一般会計の主な補正予算項目

歳入（収入） (単位：千円)

項目	補正額
ふるさと納税寄附金	1,000,000
自治センター施設整備事業充当債	41,700

歳出（支出） (単位：千円)

項目	補正額
ふるさと納税事業	500,000
地域消費喚起緊急支援事業	66,000
自治センター施設整備事業	46,328



反対討論

菊地 利衛

監査委員の限定付適正意見等の指摘は、公営企業会計に移行後、発生主義を基本とする複式簿記により複記入すべき事務処理の誤りであるとのことであった。後日、市長より原因を究明したとの報告があった。今後は研鑽に努め、二度と誤りのないよう事業運営に取り組んで行くとのことであり、12月定例会に補正予算と併せて訂正した決算書を参考資料として提出するとの説明もあった。

本議案は、管理監督者及び関係者の然るべき措置、責任を明確にした上で、再発防止に資していくべきものであり、襟を正して業務に当たること、内部牽制を確立することを強く要望し、賛成討論とする。



賛成討論

小島 正

「決算書の未収金勘定科目で貸借対照表（総勘定元帳）の額と台帳（補助簿）の額に差異が認められる」との監査委員の指摘を受け、市当局で調査したところ「事務処理に誤りがあったこと」が原因だったとのことである。そうであれば、「貸借対照表がどのようなかわるのか」そして「損益計算書にどのような影響を及ぼすのか」正しい決算の全体像を示す必要がある。残念ながら、本日現在まで一字一句訂正されていない。このまま認定されれば、令和3年度の決算にも影響を及ぼすばかりでなく、誤った決算がまかり通ることになる。よって、市民からの議会に対する信頼を損なわないためにも、本議案には反対を表明する。

議案審議結果

議案審議結果一覧

●賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 議長(渡邊 誠)は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心				市民クラブ		日本共産党 角田市議団	志政クラブ		無会派				
				菊地 利衛	小湊 毅	星 隆悦	戸村 眞喜夫	星 守夫	小島 正	湯村 勇	日下 七郎	八島 定雄	堀田 孝一	武藤 広一	菅野 マホ	馬場 道晴	柄目 孝治
市長	議案第49号	教育委員会委員の任命について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	角田市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第58号	令和2年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第59号	令和2年度角田市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第60号	令和2年度角田市下水道事業会計決算の認定について	可決 (10:5)	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

●全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名
市長	議案第46号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度角田市一般会計補正予算(第6号))
	議案第47号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度角田市一般会計補正予算(第7号))
	議案第48号	教育長の任命について
	議案第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
	議案第51号	角田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について
	議案第53号	令和3年度角田市一般会計補正予算(第8号)
	議案第54号	令和3年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	議案第55号	令和3年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

提出者	議案番号	件名
市長	議案第56号	令和3年度角田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
	議案第57号	令和3年度角田市水道事業会計補正予算(第2号)
	議案第61号	財産の取得について(スクールバス)
	議案第62号	債権の放棄について
	議案第63号	令和3年度角田市一般会計補正予算(第9号)
	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議員	議案第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

国に意見書を提出

コロナ禍への対応、防災・減災、公共施設の老朽化対策など、地方自治体の財政需要が増加していることを踏まえ、その財源確保に向け、国に「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を提出しました。

人権擁護委員の候補者の推薦

《再任》 佐々木 幸江
任期 令和4月1日1日
令和6月12月31日

固定資産評価審査委員会委員の選任

《新任》 都築 正典
任期 令和3年10月12日
令和6月10月11日

教育委員会委員の任命

《再任》 安藤 正夫
任期 令和3年10月1日
令和7月9月30日

教育長の任命

《新任》 永井 哲
任期 令和3年10月1日
令和6月9月30日

一 般 質 問

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質すことです。質問は、一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。質問した議員ごとに要約してお知らせします。

議員名	質問項目	頁
戸村眞喜夫	角田市に産婦人科・小児科が無い現状の改善について 角田市の経済循環促進と事業活性化について 令和3年産果樹病害虫特別対策事業費補助金の執行状況について 角田市第6次長期総合計画の農業振興策について 新規就農支援強化策の進捗状況について	5
馬場 道晴	通学路の安全確保について	5
小湊 毅	角田市第6次長期総合計画の基本構想(案)における「持続可能なまちづくり」について	6
菊地 利衛	政治姿勢と「ふるさと角田の元気」について ICT教育で平等な学習機会を	6
柄目 孝治	コロナ禍における今後のまちづくりに関して 上下水道事業の「みやぎ型管理運営方式」に関して	7
相澤 邦戸	学校教育における子どもたちの楽しく豊かな育成について	7
小島 正	老人ホームの現状と対策について その他の質問 ・一人暮らし高齢者の現状と問題、その対策について	8

ライブ・録画配信をやっています



<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールテレビでもライブ中継がご覧になります。また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信

議員名	質問項目	頁
日下 七郎	気候変動に関する市長の政治姿勢について その他の質問 ・角田市防災・減災構想の総括表に関する事について ・小田川堤防のアレチウリ蔓延防除について ・角田市議会第408回定例会一般質問「角田市の通学路における合同点検について」	8
星 隆悦	今後の市政の具体的施策について 空き家条例の制定について	9
菅野 マホ	SDGs…誰一人取り残さない社会へ① 持続可能な「みやぎ県南中核病院」相乗りタクシーの運行について SDGs…誰一人取り残さない社会へ② 持続可能な地域づくりの実現に向けた「自治センター」の役割について その他の質問 ・SDGs…誰一人取り残さない社会へ③ 角田市の青少年教育の現状と方向性について	9
八島 定雄	新型コロナウイルス感染症対策(命を守ることを最優先にした取り組み)について	10



角田市に産婦人科・小児科が無い現状の改善について

戸村 眞喜夫

議員▼角田市内に住むご婦人から「孫が熱を出しても市内で小児科が無くて診察してもらえず大変不便な思いをしている」が、急に何とかしてほしい旨の訴えがあった。市長は選挙公約で子育て世代や女性が安心して暮らしていけるよう産婦人科と小児科を誘致すると掲げているが、現在の進捗状況について問う。

市長▼市内への誘致努力を継続しつつ、仙南医療圏全体で、みやぎ県南中核病院が中核な役割を果たすことができるように機能強化を要望している。

角田市第6次長期総合計画の農業振興策について
議員▼農林水産省は5月に「みどりの食料システム戦略」を決定した。この戦略は食料の生産力の向上と30年後の温室効果ガス排出ゼロなど、地球環境に配慮した持続可能な農業の両立を、先端技術を積極的に活用して実現しようとするものであるが、現在策定中の角田市第6次長期総合計画に反映する必要があるのではないかと問う。

角田市の経済循環促進と事業活性化について
議員▼市の経済循環を良くし、かつ、経済活性化につなげるために、市の予算を執行するにあたり、できるだけ市内の事業者から調達する努力が必要ではないかと問う。

新規就農支援強化策の進捗状況について
議員▼農業生産を維持していくためには、従来の新規就農支援策の強化とそれにプラスして第三者継承推進策（後継者がいない人に農業をやりたい第三者を紹介し、スムーズに農業経営が継承される仕組み）が今後、必要ではないかと問う。

令和3年度産果樹病害虫特別対策事業費補助金の執行状況について
議員▼昨年度発生した梨の黒星病と梅のかいよう病で、大減収に陥った生産農家の安定的な生産・供給体制を維持することを目的に、第410回定例会において承認された「令和3年度産果樹病害虫特別対策事業費補助金」の執行状況について問う。

令和3年度産果樹病害虫特別対策事業費補助金の執行状況について
市長▼令和3年度産果樹凍害緊急支援事業補助金を含めた補助制度の活用について、果樹生産農家と相談をしながら生産者の経営維持が図れるよう、今後執行していく予定である。

令和3年度産果樹病害虫特別対策事業費補助金の執行状況について
市長▼農業振興公社を中心に、国の補助制度や地域おこし協力隊による人的支援などの活用を検討し、新規就農希望者もとり、第三者継承策について、後継者の要望に応えられるように積極的に取り組んでいく。



通学路の安全確保について

馬場 道晴

議員▼本年6月、千葉県八街市の通学路での悲惨な事故を受け文部科学省、国土交通省、警察庁は全国の公立小学校約1万9千校の通学路の合同点検を行うと発表。点検は、本年9月末をめどに実施し、危険箇所は学校や教育委員会を中心に対策案を作成する。政府は、通学路の危険箇所をチェックするポイントとして、従来の道路が狭い、見通しが悪い場所に加え、見通しがよく、車の速度が上がりやすい道路、大型車の進入が多い箇所、保護者や地域住民から改善要請があった場所も新たに示した。今回出された通学路の合同点検の実施について市長に問う。

議員▼平成27年3月に策定した「角田市通学路交通安全プログラム」通学路の安全確保に関する取り組みの方針について、定期的な点検の実施の状況を市長に問う。

議員▼安全が確保できるまでスクールバスの運行も検討すべき。考えを問う。

市長▼基本的に毎年実施。議員▼通学路交通安全対策の実施状況について、市長に問う。

市長▼平成27年度から令和2年度までの合同点検で把握した危険箇所47件の対策の実施件数は、40件で85%である。

議員▼「角田市通学路交通安全対策一覧 令和3年1月末」で、対策時期が「調整中」、「検討中」の箇所があるが、早急な対策が必要。市長の考えを問う。

市長▼地区の交通安全講習会での呼びかけの他、春秋の交通安全総ぐるみ運動において、市と角田地区交通安全運動協会等と共同で作成したチラシを全戸配布した。市交通安全母の会連合会は、年間の事業計画に酒飲み運転根絶運動の推進を掲げ、各家庭や地域で飲酒運転根絶を呼びかけている。今後、角田警察署をはじめ関係団体と連携を図り、飲酒運転根絶に向けて取り組んでいく。

市長▼従来の点検にそれらの箇所等の観点を加え、行政区長へ通学路における危険箇所等の報告を依頼し、取りまとめを行っている。今後は市通学路安全推進会議を開催し、関係機関と合同点検を行い対策につなげたい。

議員▼危険箇所がある所

市長▼対策が必要な所だが、平成27年度から「検討中」のままの箇所もある。現在の通学状況や、当時計画になかった学校統合によるスクールバス利用等も考慮する必要があると検討したい。



角田市第6次長期総合計画の基本構想(案)における「持続可能なまちづくり」について

小 湊 毅

議員▼8月23日に角田市第6次長期総合計画(案)が提示された。今後の角田市の方針を定める大切なものである。第5次長期総合計画では3点の重点プロジェクトがあったが、どのように評価、総括したのか。

市長▼第6次計画の策定に当り、職員による第5次計画の策定評価を行い、結果を長期総合計画審議会に示し、市民アンケート調査の結果等も含めて、検証を行った。「定住人口3万人の確保」は人口減少への対策は最重要課題であるが、即効性のある対策が打ち出せていない。「交流人口100万人都市への挑戦」は、交流人口の増加がもたらす効果が明確でないため、市民にとっては重要度が比較的低いと捉えられている。「戦略的産業振興」は、産業振興、企業誘致、中心市街地の再生などについて、市民は重要と考

議員▼今後、詳細な第6次計画及び実施計画が示され、具体的にいつまで何をやるということが明確になっていくと思うが、「持続可能なまちづくり」のために残すもの、なくすもの、取捨選択が行われるはずだと考えている。特になくすものについて市民の皆さんに知ってもらう必要があると考える。それらを一覧にして公表するべきではないか。

議員▼就任以来「市民力」という言葉を発してきているが、市民にどのようなことを求めているのか。市長▼市民に十分理解いただいているとは思っていない状況にある。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。

らを踏まえ、第6次計画における今後の方向性の検討に際し、統計データ、市民アンケート、事業者等ヒアリング、「かくたワークショップ」を開催する等により総合的な検証を行い、今後の主要課題を整理した。

議員▼「戦略的産業振興」が第一にやらなければならぬことだが、企業誘致の用地が無く、県にも職員の派遣を行っていないが、どのような動きを考えているのか。

市長▼「持続可能なまちづくり」のために残すもの、なくすものの取捨選択が行われるはずと、第6次計画においては、第6次計画においてそのような視点で取捨選択の一覧を示す予定はない。この10年間でやるべき施策について優先度を考慮し、第6次計画を策定する。その中で縮小もしくは削らなくてはいけない場合には、皆様に分かりやすいように示していく。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。



政治姿勢と「ふるさと角田の元気」について

菊 地 利 衛

議員▼就任以来「市民力」という言葉を発してきているが、市民にどのようなことを求めているのか。市長▼市民に十分理解いただいているとは思っていない状況にある。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。

的に考え、取り組む市民の行動力と考えている。市民が元気になるために自ら色んなことに取り組みでいくことである。

議員▼「市民力」という言葉の意味と市長が目指す「ふるさと角田の元気」の関係を知りたい。

ICT教育で平等な学習機会を

議員▼ICT(タブレット端末活用)教育が始まって約半年が経過したが、児童生徒が公平に端末を活用できるよう整備されたのか。



コロナ禍における今後のまちづくりに関して

柄目孝治

議員▼角田市第6次長期総合計画策定にあたり、コロナ禍における今後のまちづくりに関して、角田市の都市像を「市民力咲き誇る角田市」安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち」と謳えられているものだと解釈している。財政問題、自然災害等に十分意を尽くされているものと拝察するが、医療懸念を含め

た感染症対策、地域経済対策に関し、角田市第6次長期総合計画にどう織り込まれていくものなのか、現時点における市長の見解を問う。

市長▼新型コロナウイルス感染症は、本市においても市民の暮らしや地域経済に深刻な影響を及ぼしており、本計画のあらゆる分野に影響をもたらす重要な変化として基本計画に反映していくことが必要であると認識している。

議員▼令和2年に入ってから、感染症拡大のリスクに対する体制の整備が急務となっており、しっかり記されているが、主要課題の中では、全くコロナの「コ」の字も出てこない。コロナ禍により生活の仕方も、仕事の働き方も、教育の在り方も、何もかも状況が変わってしまったという認識、危機的な認識を持っているが、現在の状況認識を問う。

市長▼市民の暮らしや地域経済、あらゆる分野で対応を強いられていると感じている。政策にはリスクに対応する姿勢が今は不可欠だと感じている。

議員▼人々の安全安心な市民生活と地域経済の安定発展によってこそ、第6次計画の推進なり達成がなされるものではないかと思っている。市民力の結集を強く前面に唱えられている市長の認識を改めて問う。

市長▼第6次計画の重点プロジェクトに感染症のリスクに対応すること、具体的には、「新型コロナウイルス感染症をはじめとする新たな感染症拡大から市民生活を守るため、全庁的な体制を構築した上で感染症対策を講じ、迅速かつ正確な情報発信に努めます」という一文を明記するよう求めたり、さらに、行政だけが取り組むのではなく、市民の皆様には御協力をいただけるような、共に戦っていただけるような文章を計画内に組み込めるよう検討したい。

議員▼市民の皆様にもということである。関連機関である審議会はじめ、市民に与える影響、すなわち、自らの生命、財産を守るのは市民力に関わってくるから言うのであって、いろいろな場面で議論し、対策を見出す総意を集める、そういうタイミングではないかと思うが、再度、市長の答弁を求める。

市長▼誠にそのとおりである。心して本気度を示していきたい。



学校教育における子どもたちの楽しく豊かな育成について

相澤邦戸

議員▼教育委員会が公表している「全国学力・学習状況調査概要」によると平成26年から平成31年までの小学校の国語・算数、中学校の国語・数学の正答率は、1力所を除き県・全国平均を6年間続けてマイナスポイントである。これを子どもたちはどう捉え、内面的な問題を生じさせていないか、また、その対応について問う。

教育長▼点数が下回っていることを捉えさせるより、どこが弱点であるかを確認させ、どのようにすれば克服できるかに主眼を置き、取り組むよう指導を工夫している。

議員▼「家庭で授業の予習・復習をする」項目では、小中学校ともに全国平均を上回っているが、時間数は小学校は上回っているが、中学校は大きく下回っている。これをどう捉えているか問う。

教育長▼部活動をしている割合が全国に比して高い影響も多少あると思う。学習に取り組む時間の確保は大切で、復習中心の家庭学習から予習中心に転換が求められてきており、家庭学習の質の改善について取り組んでいくとともに、親に呼びかけをしている。

議員▼「自分にはよいところがある」項目では、3年間続けて小中学校ともに大きくマイナスポイントとなっていることについて、どう捉えているか問う。

教育長▼「褒める」取組を行っているが足りないのではないかと思う。学校・地域・社会全体で認識していかなければならない。

議員▼自己肯定感を高めるためにはどのような教育が必要か問う。

教育長▼子どもは自分の良さに気付けない。集団の中で自分や仲間の良さを見つけ周囲がそれを認めることを様々な機会働きかけていく。

議員▼「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできていく」項目でも小中学校ともに大きくマイナスポイントであることをどう捉え、対応していくのか問う。

教育長▼話し合いの技能は学校で高めることができる。話すことの苦手意識・考えの否定への恐れなどを取り除くことから取り組んでいく。

議員▼対話を通じて考えを深める「子どもの哲学(p4c)」が県内約100校の小中学校で広まっております。本市でも行っており、本市でも行っており、欲しいが考えを問う。

教育長▼対話の中で相手を否定しない、最後まで話を聞く、主体的に考える、個々の考えを重要とするなど、良い方向性があると。本市でもすでに研修に取り入れていくが、さらに広く実践していきたいと思う。



老人ホームの現状と対策について

小島 正

議員▼現在の入所待機者は何人か。

市長▼令和2年4月1日現在で95人である。

議員▼角田市高齢者福祉計画において、今後、新たな施設整備をする考えはないと推察できるが、整備するのであれば、自然豊かな場所に建設することを考えているのか。

市長▼待機者が減少傾向にあり、有料老人ホーム等もあるため新たな施設整備をする予定はない。

議員▼市内施設に入所できないため他市町村の施設へ行くことは、人口減少に繋がると考えられるが、どう捉えているのかより良い、安心安全な介護を進めるために、大手の介護施設の参入を進める考えはあるか。

市長▼市内特別養護老人ホームの定員数は249人である。市外から転入される方もおり、人口減少の大きな要因とはなっていない。また、現時点では参入を進める考えはない。

議員▼一人を養うために勤めていた会社を辞め、

家庭で介護している人たちについて、救済策をどう考えているのか。

市長▼厚生労働省では、介護離職を防ぐ対策をしている。本市も、仕事と介護の両立支援、介護保険制度の周知及び地域包括支援センターの体制づくりを推進している。

議員▼山形県では、ひとり親家庭の中・高校生に給付金、商品券の支給事業を導入したと報じられたが、どう考えるか。

市長▼情報収集・調査に努めたい。

議員▼認可を受ける際に100床、50床と申請したうえで認可を受けた施設について、介護士不足等により申請した床数を満たしていない施設がある場合、市としてどう指導しているのか。

市長▼指導監督業務は県の所管で、市は実施していない。

議員▼人生100年時代を迎えた今、入所できないことは待ったなしの課題である。市の指導監督も必要ではないか。

市長▼利用状況は把握を

しており、早急な事案があれば県と協議したい。

議員▼介護疲れで自分が早く亡くなる事件、親を看病するのが大変で、自分から身を引くような事件など多々報道されている。近所でも、夫が倒れて妻が働き、介護をしている事例があり、他地区でもあると思う。待機者をなくし、介護者を少なくする取り組み、安心安全な角田市を構築すべきと考えるか。

市長▼そのような危機感の共有をしていきたい。

議員▼市内老人ホームや介護サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症対策について、厚生労働省から注意事項等が示されているが、現場の現状はどうなっているのか。

市長▼厚生労働省のマニュアルで対応している。さらに、提供場所に病原体が持ち込まれることを防ぐために、職員の感染対策の徹底及び面会制限等を実施し介護をしている。

しており、早急な事案があれば県と協議したい。

しており、早急な事案があれば県と協議したい。

議員▼気候変動とは、「二酸化炭素などの温室効果ガスの増加により、地球の気温が高まる地球温暖化や降雨量の増減など、気候の状態が変化し、自然や生活環境に各種の悪影響が生じる現象」とのこと。市長に気候変動に関してどのような認識をし、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第4

気候変動に関する市長の政治姿勢について

日下 七郎



条（地方公共団体の責務）、及び第21条（地方公共団体実行計画等）を問う。

市長▼地球温暖化は、気候変動を引き起し、世界各地で自然環境や人の暮らしに様々な影響や被害として表れ、深刻さを増し、近年、日本各地で起こる豪雨災害なども地球温暖化によるものと思われる。その現状を私たちは目のあたりにして、一人ひとりが主体的に、より一層地球温暖化対策に取り組むことは不可欠であり、重要な問題と認識している。「地球温暖化対策の推進に関する法律」第4条（地方公共団体の責務）、及び第21条（地方公共団体実行計画等）については、第2次角田市環境基本計画、及び第2次角田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、温室効果ガスの発生抑制等に取り組んでいる。今後、脱炭素社会の実現に向け、次期角田市環境基本計画及び第2次角田市地球温暖化対策実行計画の改定の中で具体的な施策を示し、市民、事業者、行政などが一体となって地球温暖化対策に取り組み実践していきたい。

議員▼太陽放射の熱と同量熱が地表から赤外線として宇宙に放射され、大気の温度はバランスを保っているとのことである。地球温暖化の現象がなぜ発生するのか。また、このことをどのように受け止めているのかを問う。

市長▼二酸化炭素などの地球温暖化を促進する温暖化ガスが地球の中で発生し、特に我々人間の営みから、今までの自然状況よりもさらに多くの温暖化ガスが発生し、地球の大気中が高温になることと捉えている。

議員▼次期角田市環境基本計画、及び第2次角田市地球温暖化対策の推進に関する法律施行令の区分（メタン排出量）農業分野の家畜、稲作等を問う。

市長▼角田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）は計画期間が、2018年から2030年までで、5年ごとに改定する。現在は第2次期間中で、2023年度から第3次となり、これから来年にかけて改定することが1つ。この計画では、本市に関わる公共施設に限定した排出量等を把握するもので、農業の館の排出するガスが主となる。議員質問の農業分野の家畜、稲作等は、対象外。

して宇宙に放射され、大気の温度はバランスを保っているとのことである。地球温暖化の現象がなぜ発生するのか。また、このことをどのように受け止めているのかを問う。

11人の議員が市政を問う



今後の市政の具体的施策について

星 隆 悦

議員▼市民の市政に対する閉塞感・不安感を打破する具体的施策を問う。
市長▼現在策定中の第6次長期総合計画では「市民力（地域の課題を主体的に考え取り組む市民の行動力）」を中心に据え、その「市民力」を最大限に活かすことのできる施策を展開していく。
市長の反問▼議員の考え



▲市内の風景

を問う。
議員▼①めくもりのある、やさしい、まちづくり「幸福度指数100」
：子ども・弱者・高齢者にやさしいまちづくりを目指す。
②富裕市への脱皮「一人当たり市民所得400万円」：市民の向上を図るため税収増加を目指す。
③持続可能な地域づくり「合計特殊出生率1.8」子どもを産み育てる環境を整備することは日本全体の課題であり、市の未来を左右する大問題である。合計特殊出生率を現在の1.2から1.8に上げるには国による思い切った施策転換が必要で、所得税累進課税最高税率、相続税の引き上げ、金融資産課税強化をし、その財源を子育て支援策に充て、「教育の完全無償化」を図るこれらのスローガンのもと、今後10年間の実施計画、財政計画を立て3年ごとに見直しをする。

空き家条例の制定について

議員▼周囲に悪影響を及ぼしている空き家が市内にあるか。
市長▼2件ある。雑草や樹木が繁茂する等の状況から所有者に改善を要請している。
議員▼個人の財産を制限するようになるが、環境悪化、災害、事故が予想されるケースを想定し、空き家条例を制定することについて、見解を問う。
市長▼市に空き家の相談があった場合、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき所有者へ指導し、大半は改善している。核家族化や相続問題等に伴い、問題のある空き家が今後増えていく可能性があり、空き家の活用も併せて検討する。
議員▼「空家等対策の推進に関する特別措置法」が制定され、行政代執行も可能となったが、空き家条例で対処できれば解決が早くなる。空き家条例の制定は、パブリックコメントを経て、来年3月までには可能だと思いが、見解を問う。
市長▼検討する。

図1

★中核病院相乗りタクシー運行時間（案）

	往復 (角田発)	往路 (病院発)
1便	7:00	11:30
2便	9:00	13:30
3便	12:00	15:30(新)

議員▼角田市民の「みやぎ県南中核病院」年間利用者数を問う。
市長▼令和2年度の外来患者は（のべ）2万2,904人、入院患者は1万2,604人（1日／1人）であった。
議員▼市民の長年の夢だった「中核病院への足」として相乗りタクシーの試験運行が開始されたことは大きな一歩だ。独自のアンケート調査等を行っている。皆様の声をお聞きしたい。①運行時間：「午前8時から病院の受付が始まるので、間に合うように運行してほしい」、「予防接種や見舞いでの利用もあり、午後便（正午発）の帰りの便をつくらしてほしい」等の意見を基に、仮スケジュール（図1）を提案したい。



SDGs..誰一人取り残さない社会へ①「持続可能な「みやぎ県南中核病院」相乗りタクシーの運行について」

菅野 マホ

市長▼皆様からの御要望、特に菅野議員などの調査によって、午前7時の出発便を新たに加えた。
議員▼②運行行程：「現在の行程に市役所を入れてほしい」、「旧宮交仙南バスのルートを利用してほしい」、「隈東や隈西のルートもつづけてほしい」、「各自治センターを入れたら、角田市内全てが網羅できるのではないかと」等の意見を基に、「自治センターを拠点にできるだけでなく、停留所を設置し予約があった停留所にのみ送迎する案」を提案したい。
市長▼運行ルートが日々異なるので定額での借上契約は困難となること、到着時間も異なるので利用者側にも不便と思われる。皆様の御意見、御要望を可能な限り取り入れながら、乗り場の設定とルートの構築を図っていただきたい。
議員▼タクシーの借上金額等を含む契約条件と、持続可能と思われる料金について問う。
市長▼ジャンボタクシーは2社とも片道7,360円、普通車で1社は5,360円、もう1社は5,150円である。補助率2分の1程度であれば持続可能と言えるのではないかと。

議員▼現在片道1,000円の利用料金だが、自宅送迎であれば2,000円出してもいいという意見もある。3人が乗れば6,000円で黒字化もする。サービス向上とともに値段をアップする案も、持続可能な運行の為に後々追加して頂きたい。
SDGs..誰一人取り残さない社会へ②「持続可能な地域づくりの実現に向けた「自治センター」の役割について」
議員▼令和2年度より自治センターが市長部局所管になり、実際どう変わったのかを問う。
市長▼自治センターは、地域づくりに対する比重が高くなり、地域にとってはコミュニティの構築や防災、高齢化問題などの地域の課題解決を図るための拠点であることがより明確になった。



新型コロナウイルス感染症対策（命を守ることを最優先にした取り組み）について

八島 定雄

議員▼コロナ感染者の半数が無症状感染者からであり、無症状感染者の早期発見と保護・隔離が感染対策に欠かせない。コロナ感染を徹底して抑え込むために、市民の希望者全員に無料でPCR検査等を受けて頂く考えがあるか、市長に問う。

市長▼症状のある方や濃厚接触者などは行政検査として無料でPCR検査が受けられる。症状も接触歴もない方がPCR検査を受けたい場合は、民間の検査機関等において有料で受けることになる。無症状の患者の発見のために無料のPCR検査を実施することは、検査機関の確保、陽性が判明した場合の対応・費用面などを考えると、簡単に実施できるものではない。現在、仙台市役所内において民間事業者によりPCR検査センターが運営されており、宮城県民であれば税込み1,900円と比較的安価にPCR

検査が受けられる。また、仙南地域で1カ所、設けられないかどうか検討をしている。ただ、無料かどうかは現在、検討中。

議員▼感染レベルの違い、新型コロナウイルス（デルタ株）は、子どもの感染をめぐる状況を大きく変えた。角田市でも抗原検査キットの準備を前向きに検討すべきと考えるが、市長の所見を問う。

市長▼幼稚園、小・中学校は、主に発熱などの風邪症状がある教職員や小学校4年生以上の児童生徒を対象として、直ちに医療機関を受診できない場合等に迅速かつ簡易に抗原定性検査を実施するため、文部科学省から抗原検査簡易キットが配布される。また、保育所、放課後児童クラブ等は、厚生労働省から同様の検査キットが配布される予定。しかし、検査キットの運用に当たっては、陽性判明時の対応を含めて角田市医師会や保健所と

の連携が不可欠。検査キットの活用可否も含めて丁寧に協議を進めていく。

議員▼子ども達は、長い間、我慢を強いられ、様々な不満を募らせている。コロナ感染の仕組みを学び、受け身でなく、自分の頭で考え納得して行動し、これなら部活動等もできるといった、自分たちの学校生活を前向きに考える「学び」が、この時期に欠かせない。そうした学びの保障を期待する。教育長の所見を問う。

教育長▼コロナの災いをこれまでにない視点で捉え、よりよい変容を図ることは、議員の考えのとおり。物事を肯定的に、しかも主体的に取り組むことは、これからの全ての人に求められる資質能力である。災いを福に転じる学びは現在の子ども達にしかできない大きな学びのチャンスと捉え、取り組みたい。

宮城県議会自然災害対策調査特別委員会来角

宮城県議会自然災害対策調査特別委員会が7月16日、坂下宮城県議会自然災害対策調査特別委員会委員長はじめ、同特別委員会委員（6名）が来角し、令和元年東日本台風（台風第19号）の被害及び復旧・復興の状況の調査、検討を行うため、本市の防災・減災対策、生活再建状況などの実態把握、現地調査を実施しました。



▲横倉字左関地内の現地調査



▲江尻字巻向の現地調査

議会日誌

- 7月 16日 宮城県議会自然災害対策特別委員会県内調査
- 8月 1日 かくだ市議会だより213号発行
10日 会派代表者会議
17日 会派代表者会議
23日 全員協議会
27日 第412回定例会召集告示・会派代表者会議
- 9月 31日 議員協議会・議会運営委員会
- 3日 本会議（第1日）・会派代表者会議・正副委員長会議
7日 議会運営委員会
13日 本会議（第2日）・決算審査特別委員会（第1日）
14日 決算審査特別委員会（第2日）・会派代表者会議
17日 決算審査特別委員会（第3日）
21日 決算審査特別委員会（第4日）
22日 決算審査特別委員会（第5日）・議会運営委員会
28日 本会議（第3日）・会派代表者会議
29日 本会議（第4日）・議会運営委員会
30日 本会議（第5日）・議員協議会・議会運営委員会
- 10月 4日 本会議（第6日）・総務産業常任委員会・教育厚生建設常任委員会・議会運営委員会・議会だより編集会議
11日 総務産業常任委員会
14日 議会運営委員会
15日 会派代表者会議・総務産業常任委員会
16日 議会だより編集会議

常任委員会等の構成

任期：令和3年10月4日～令和5年9月30日

総務産業常任委員会

 <p>◎委員長 こみなと 小湊 会派一心</p> <p>たけし 毅</p>	 <p>○副委員長 むとうこういち 武藤 広一 志政クラブ</p>	 <p>とむらまきお 戸村 眞喜夫 会派一心</p>
 <p>ばばみちはる 馬場 道晴 無会派</p>	<p>総務部、農林振興課、商工観光課、会計課、議会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に関する事項について、調査や審査を行います。</p>	 <p>わたなべまこと 渡邊 誠 無会派</p>
 <p>おしまただし 小島 正 市民クラブ</p>	 <p>くさかしちろう 日下 七郎 日本共産党角田市議団</p>	 <p>つかのめこうじ 柄目 孝治 無会派</p>

教育厚生建設常任委員会

 <p>◎委員長 かんの 菅野 マホ 無会派</p>	 <p>○副委員長 ほつたこういち 堀田 孝一 志政クラブ</p>	 <p>きくちとしえ 菊地 利衛 会派一心</p>
 <p>ほしりゅうえつ 星 隆悦 会派一心</p>	<p>市民福祉部、都市整備課、上下水道事業所及び教育委員会の所管に関する事項について、調査や審査を行います。</p>	 <p>ほしもりお 星 守夫 市民クラブ</p>
 <p>やしまさだお 八島 定雄 日本共産党角田市議団</p>	 <p>ゆのむらいさみ 湯村 勇 市民クラブ</p>	 <p>あいざわくにこ 相澤 邦戸 無会派</p>



▶ 総務産業常任委員会の様子

議会運営委員会

議会の運営、議会改革及び会議規則・委員会条例などについて、調査や審査を行います。

- ◎委員長 **八島 定雄** ○副委員長 **菊地 利衛**
菅野 マホ **星 隆悦**
堀田 孝一 **湯村 勇**

決算審査特別委員会の現地調査

9月13日の決算審査特別委員会において令和元年東日本台風（台風第19号）災害に伴う工事や交通公園のどんぐりぱーくなど、市内数箇所の現地調査を行いました。

令和元年東日本台風（台風第19号）被災状況（当時）



【山口雁坊線（笠島）】



【台山公園】



▲山口雁坊線道路災害復旧工事



▲台山公園災害復旧工事



▲交通公園幼児用遊び場整備工事

編集後記

今月号から編集委員が替わりました。宜しくお願いします。議会だよりは、議会と市民をつなぐ大切な広報誌です。議会を身近に感じて貰うため、読みやすさはもちろんですが、議会での議論のポイントや議員の考え方なども分かりやすく掲載するとともに、意見なども頂戴出来ればと考えています。今年も2カ月を残すばかりとなりましたが、新型コロナが早く終息し、市民の暮らしも地域経済も通常にもどることを願っています。寒さも厳しさを増してきますのでご自愛下さい。

議会だより編集会議

会長 菊地 利衛

12月定例会の予定

会期
12月3日(金)～12月21日(火)

本会議の日程（午前10時開会）	
12月3日	提案理由の説明
14日	質疑・自由討議
17日	討論・表決・一般質問
20日	一般質問
12月21日	最終日

※日程は変更になる場合があります。

インターネット録画中継視聴者数

7月～9月

延べ 523人

「請願」及び「陳情」をされる方へ

市民の皆さんのご意見や要望を市政に反映させるため、請願及び陳情の制度があります。

議会招集日の7日前までに提出された請願及び陳情は、その定例会の会期中に審議されます。

◎請願書には、1人以上の紹介議員の署名又は記名押印が必要です。（陳情書には必要ありません。）

請願・陳情の提出期限は

11月26日（金）まで

第412回(令和3年9月)定例会

インターネットライブ中継視聴者数 延べ 777人